

「雑草魂」 第 6 8 号

2021.2.8(月) 編集責任者：橋山 直記

令和 3 年度公立推薦志願状況発表

この結果を、君たちはどうとらえる？

ついに公立受検がスタートした。いよいよ明日、公立推薦入試が行われ、その志願者状況が正式に発表された。新聞の記事によると、県立募集人員 4599 人に対して 5970 人が志願しており、その平均倍率は 1.30 倍とのことだ。これは昨年度より 0.05 ポイント減少しており、昨年度より倍率が下がっている高校が多かったことだろう。学校別志願倍率が一番高かったのは明善の 2.50 倍である。さて、本校の生徒が受検する高校の志願状況を上に載せているが、この結果を君たちはどのように分析するだろうか。あくまで分析であるので、実際のところはどうかはわからないが、ただ数字だけを見て安易に「ラッキー」とか、「やばいな～」とか思わないでほしい。1 年生の数学、資料の活用で学習したヒストグラムで表された強盗事件の激増という表現は正しかったのかどうかのように、母数の大きさや、過去数年分のデータを比較したり、時代背景などを考えていかないと激増といつてよいかどうかわからなかったはずである。今回倍率の高さについてはあまり意識しないでよいと先生たちは考えている。理由は、母数（募集人員）が少ないので、1 人当たりの増減で倍率は大きく変わるからだ。次に気になるのは、志願状況が昨年より減少していることだ。これは、感染症対策を考えた人や学校休校による自宅学習などでしっかりと学力を向上させた人たちが、推薦ではなく一般の学力検査で勝負した方がよいと考えた人が多かったのかもしれない。となると、一般受検を考えている人はうかうかしていただろう。例年より一般受検は競争が激しくなる可能性がある。推薦受検の生徒は倍率がわれているから必ず受かるわけではないことは肝に銘じておくこと。各学校のリーダ中のリーダーしか推薦受検を志願していない可能性がある。他校の生徒がすぐく見えるかもしれない。さらに一般受検も控えているので、無理に推薦入試で人員確保をしなくてもよいので、10 人程度の募集だったが 5 人しか内定をださないこともある。と、まあ～言い出したらきりがないけど、一つの資料からたくさんを推測することができることを忘れないでほしい。でも、いつも言ってるけど、『彼も人なり我も人なり。』しっかりと努力してきた自分がいるから、人は自信を持てる。推薦受検組！君たちはここまでよく努力してきた。ここまで頑張ってきた自分をしっかりと自分でほめてやり、明日は最高のパフォーマンスをみせてこい！！見崎中全員で応援しているからな～☆

令和3年度公立高等学校推薦入学

学校名	学科(コース)名等	令和3年度		志願・P	
		入学定員 (人) A	推薦入学 募集人員 B	志願者数 C	志願率 C/B
八女	普通科	240	53 人 程度	63	1.19
八女工業	計	240	60 人 程度	80	1.33
	電子機械科	40	10 人 程度	15	1.50
	自動車科	40	10 人 程度	14	1.40
	電気科	40	10 人 程度	16	1.60
	情報技術科	40	10 人 程度	14	1.40
	工業化学科	40	10 人 程度	13	1.30
	土木科	40	10 人 程度	8	0.80
福島	計	160	52 人 程度	37	0.71
	普通科	80	20 人 程度	15	0.75
	総合ビジネス科	40	16 人 程度	12	0.75
	生活デザイン科	40	16 人 程度	10	0.63
八女農業	計	120	36 人 程度	20	0.56
	生産技術科★	120	36 人 程度	20	0.56
	システム園芸科★				
	生物利用科★				
	生活科学科★				

前夜、たくさんの方からメッセージをいただきついにきたとおもいました。高校についた瞬間今までに経験したことないような緊張を感じました。でも、黄緑色のジャンパーをきた橋山先生を見ると、緊張がほぐれ気合が入りました。ペーパーテストの途中で集中が途切れたときたくさんの方々今まで応援してもらったことをおもいだした集中することができました。ありがとうございました。面接練習を手伝ってくださった地域の方々には、感謝しかありません。ありがとうございました。

私立入試の前日、私はとても緊張していました。試験会場に着くと、とてもたくさんの受験生がいて、余計に緊張してしまいました。しかし、案内をしてくださった先輩・先生が優しく「頑張ってるね」と言ってくれたおかげで、緊張が少しほぐれて、頑張ろうと強く思うことができ、前向きな気持ちになれました。一時間目の国語は難しいかんじがたくさん出ていてとても苦戦しました。しかし、その他は結構解けたと思います。二時間目の英語は、一番難しかったです。三時間目の数学は、所々難しかったけど、他の2教科に比べると解くことができたので良かったです。自分の持っている力を最大限に出すことができたと思います。2月9日は、公立推薦入試があるので、それに向けて面接や作文の練習を頑張っていき、無事、合格できるようにしたいです。

入試前日の夜は緊張であまり眠れませんでした。当日は、そこまで緊張していなかったけれど、受験会場の教室にはいると、また緊張してきて、ちゃんと問題を解けるか心配でしたが、1限目の国語が終わると、緊張がとけて、2限目の数学からはのびのびと問題を解くことができたので安心しました。筆記試験が終わると、次は面接試験だったのでまた、緊張していました。でも、面接試験は僕の思っていた面接とは違い、教室ではなく廊下での面接でした。それに面接官の先生は少年野球のコーチをしていた方だったので、普段より緊張せずに試験を終えることができました。朝から椅子に座りっぱなしだったので、移動をするために立ったとき、足が痺れていました。気分もちょっと悪く、面接官の先生から「顔色悪いけど大丈夫？」と聞かれました。この日の試験は今までしてきたことを出し切れたので、自分的には良かったと思うので、合格していて欲しいです。

まず最初に朝起きたときにめちゃくちゃ緊張しました。そして、入試にいく時間が近づくとつれて心臓がバクバクなり始めていざ出発になって行ってたら広川ぐらいのところまで来た時上靴を家に忘れていた事に気づいて急いで取りに帰りました。その時はとても焦りました。そして、渋滞に巻き込まれると思ったけど意外とすんなり行けてついでみるとみんないたので意外と安心しました。そして、試験会場に行ってみると本来受験番号のところに座らなくちゃいけないのに僕が座るところに誰か座っていてとても驚きました。そして、「あれっ？」と思い高校の先生に聞いてみたら一緒に来て下さって僕が座る所に座っている人に声をかけてくださってその人の受験番号を見た時その人は受験番号5番で隣の教室でした。そして、いざ受けて最初はとても緊張したけど途中から緊張がほぐれて問題がスラスラ解けました。そして、5教科受け終わって面接になった時体がガチガチになってとても緊張しました。最初の組が2、3分で終わったのでびっくりはしたけど後々考えると良かったです。終わったあとは解放感が半端なかったです。みんなに会えたときはとても嬉しかったです。